



平成 25 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 大日本住友製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 多田 正世
 (コード：4506、東証第 1 部)
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 樋口 敦子
 (大阪：TEL. 06-6203-1407)
 (東京：TEL. 03-5159-3300)

**平成 26 年 3 月期第 2 四半期業績予想との差異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 25 年 5 月 9 日に公表した平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、通期の連結業績予想を修正しましたので、併せてお知らせします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	178,000	10,000	10,000	5,000	12 円 58 銭
第 2 四 半 期 実 績 (B)	181,396	17,435	17,408	8,697	21 円 89 銭
増 減 額 (B - A)	3,396	7,435	7,408	3,697	
増 減 率 (%)	1.9	74.4	74.1	74.0	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	178,748	19,978	19,925	10,951	27 円 56 銭

2. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	369,000	26,000	25,000	13,000	32 円 72 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	381,000	35,000	34,000	17,000	42 円 79 銭
増 減 額 (B - A)	12,000	9,000	9,000	4,000	
増 減 率 (%)	3.3	34.6	36.0	30.8	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	347,724	25,043	24,505	10,043	25 円 28 銭

3. 差異および修正の理由

(1) 第 2 四半期連結累計期間

売上高は、北米セグメントの主力品であるラツダ、ルネスタ等が堅調に推移したことなどから前回発表予

想を上回りました。販売費は、北米セグメントで一部品目の営業体制を見直したことなどから前回発表予想を下回りました。

これらのことから、平成26年3月期第2四半期連結累計期間の実績値は、前回発表予想値に対し、売上高は34億円増の1,814億円、営業利益は74億円増の174億円、経常利益は74億円増の174億円となりました。

また、投資有価証券売却益等を特別利益に計上し、特別損失として事業構造改善費用や減損損失を計上したことから、四半期純利益は37億円増の87億円となりました。

(2) 通期

売上高は、北米セグメントでの売上が引き続き好調に推移すると見込まれることなどから、通期でも平成25年5月9日に公表した前回発表予想を上回る見通しです。また、製品構成の改善等により売上原価は減少する見通しです。

一方、販売費及び一般管理費は、今後、北米セグメントの最注力品であるラツダのマーケティング強化、研究開発プロジェクトの進捗に伴う費用増や再生・細胞医薬事業などへの投資増が見込まれることから前回発表予想を上回る見通しです。

これらのことから、平成26年3月期通期連結業績予想を、前回発表予想値に対し、売上高は120億円増の3,810億円、営業利益は90億円増の350億円、経常利益は90億円増の340億円、当期純利益は40億円増の170億円にそれぞれ修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上